

特別支援教育だより

三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園・教育支援部 2014. 10. 10 第56号

さわやかな季節になりました



昨年はずいぶん長い間残暑が続いたように思いますが、今年は9月半ばころにはさわやかな秋風が吹き始めました。日中はまだ暑い日もありますが朝晩は寒いくらいの日もあり、コスモスも咲き乱れ、景色はすっかり秋色になりました。みなさんのお近くは、台風の被害はなかったでしょうか？かなり大きな台風で、休校になった学校も多かったと思います。本校もスクールバスでの通学が大半なので、前日には休校が決定しました。学校は被害もなく、台風も無事過ぎ去ってよかったです。6日に予定しておりました高等部説明会につきましては、27日に延期となりました。中学校にはすでに書面でお知らせしてあります。よろしくお願いします。

さて今年も夏季休業中には、名張市や伊賀市の巡回相談に協力させていただき、保護者の就学へのニーズを伺いました。その際保育園・幼稚園の担任の先生からお子さんの様子を聞かせていただき、支援の際の配慮などをお聞きすることもありました。地域の小学校や本校などに入学してくる子どもたちがスムーズに学校生活に入っていけるように、今までの支援を途切れることなくつないでいけるように、しっかり情報を引き継いでいけるとよいと思いました。また、夏季休業中に小・中学校の研修会にも参加させていただきました。気になる行動をどのように見て分析、解釈していくのか、どのような支援が必要なのかをお話し、現場の先生方と一緒に研修しました。私たちにとっても、貴重な研修の機会となりました。

本校からの発信の場ということでこの夏も公開研修会を開き、伊賀地域の保・幼・小・中・高の先生方はもちろんのこと、関係機関及び県内の特別支援学校等からも多くの方々に参加していただきました。ありがとうございました。併せて校内での職員研修も行いました。今回は、その夏季研修会（講演会）の概要をお知らせします。

夏の研修会（講演会）の概要について

〈8月8日「“頑張るなさい”では解決できない

子どもの生きる“感覚”をそだてる〉

講師 佐藤 裕子先生（nanairono かけはし）

- ・じっとしてられない、話が聞けない、計算が苦手、書き順を覚えるのが苦手などの困難さを抱える子どもたちの中に、0歳～7歳までの間に育つべき身体感覚（触覚…自分の身体の境界を感じる感覚、運動感覚…自分の身体の動きや位置を感じる感覚、平衡感覚…自分と左右・上下・前後とのつながりを感じる感覚、生命感覚…自分の身体の状態や健やかさを感じる感覚）と空間認識が育っていないことがある。
- ・目、手、足にはそれぞれ利き側がある。利き側が定まっているということは右側の脳と左側

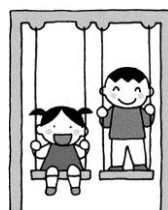
の脳のどちらが主導権を握っているかが定まっているということであり、これがバラバラだと混乱を起こす。

・姿勢の悪い子は、平衡感覚（空間とのかかわり）を学ぶことが必要。平衡感覚でバランスを保てない分、意志の力で「よいしょ」と身体を起こしているの、勉強に向かう前に姿勢を保とうとすることで力を使い果たしてしまい、集中力が続かないということもある。

・動きがぎこちないと心の動きや認識もぎこちない。まずは動きを通して、脳を発達させていく。

・お手伝いや昔ながらの遊びの中に、触覚や運動感覚を育てる動きはたくさんある。重いものを持ち上げる、バケツや一輪車で運ぶ、かき回す、（遊びの中で）床を転がる、揺れ系の遊具に乗る、手遊びをするなど日常的にできるはたらきかけはたくさんある。

…など、身体感覚を中心に身体を整えていくことの重要性をお聞きしました。講演内容に関心をお持ちの方は、本校教育支援部までご連絡ください。



地域生活支援連絡会の様子

9月29日に伊賀庁舎で伊賀市の、10月1日に本校にて名張市の地域生活支援連絡会がありました。本校のPTA主催で、地域の小中学校にも声をかけさせていただき、関係機関の方々にもご協力いただいて情報交換をしました。ご参加ありがとうございました。

それぞれの地域生活支援連絡会の様子を、簡単ですがお知らせします。

（伊賀市）

関係機関として伊賀市教育委員会、障がい福祉課、障がい者相談支援センター、こども発達支援センター、社会福祉協議会が若者サポートステーションの方々にご参加いただきました。保護者の方は本校の他に、青山中学校、柘植中学校、上野南中学校、かしのみ園からと、地域の小中学校からは、中瀬小学校、青山中学校、柘植中学校、霊峰中学校、緑ヶ丘中学校、阿山中学校、上野南中学校、かしのみ園、こごみのひろば（放課後等デイサービス事業所）の職員の方々にご参加いただきました。

会は、保護者からの質問に関係機関が答えていただく形で進められました。保護者の方から、放課後利用できる施設としてどんな施設があるのかわからないし、どこへ相談すればよいのかわからないという質問が出され、相談支援センターからセンターに電話をいただければ対応させていただくとの回答をいただきました。また、利用できる施設の一覧表がないので、市で作ってほしいという要望も保護者から出されました。

成長の節目ごとに相談機関もかわると思うが、その時々どこに相談すればよいのかわからないという質問に対しては、障がい福祉課から伊賀市の自立支援協議会療育部会でサポートガイドのようなものを現在作成中なので、もう少しお待ちくださいとの回答がありました。

災害時に支援がくるまでの過ごし方にも話が及び、地域の避難所に行けるがどうかかわからないので近くの福祉施設に菓などを預け、災害時はそちらへ避難させてもらおうということではできないかという意見も出されました。これについてはこの場で方向性が出たわけではありませんが、行政の方々に保護者の生の意見を聞いてもらおうよい機会だったと思います。このやりとりの中で、関係機関の方から次回は危機管理室の方にも参加してもらったらという意見も出され、来年は参加を依頼することになりました。

また、伊賀市では災害時や救急時に備え、筒（医療情報や薬などをまとめ、容器に入れて冷蔵庫に保管しておく）を配布しているそうです。自治会を通じて配布してもらっているそうですが、社会福祉協議会に直接取りに行けばいただけるそうです。他にも、いざというとき民生委員さんの力を借りたいときがあると思うが、近くの民生委員さんを知らないという声に関しては、厚生保護課に問い合わせればわかると教えていただきました。

個人的な感想になりますが地域生活支援連絡会に初めて参加して、「聞きたいけど、どこに聞けばよいのかかわからない」、「こんな制度やシステムがあるとよいのに」など日常感じる様々な疑問や悩みなどを、主な関係機関の方々に直接聞いたり伝えたりできるととてもよい機会であることを知りました。そして本校のもっと多くの保護者の方、地域の小中学校の方々に参加していただき、活用していただきたいと思いました。

（名張市）

関係機関として名張市教育委員会、高齢・障がい支援室、子ども発達支援センター、子ども家庭室、地域包括支援センター、社会福祉法人名張育成会児童発達支援センターどれみの方々にご参加いただきました。残念ながら保護者の方の参加は少なく、本校から2名の方のみでした。情報交換の中で、高齢・障がい支援室からコミュニティバスの運賃変更の話と11月8日～9日にADSホールで行われる「三重県障がい者芸術文化祭」のお知らせをいただきました。

コミュニティバスは、市街地循環型の「ナッキー号」、国津の「あららぎ号」、錦生の「ほっとバス号」、薦原の「コモコモ号」、緑ヶ丘の「みどり号」が、平成26年5月1日より障がい者等運賃免除となっているそうです。これらのバスの乗車または精算時に手帳を提示すると、介護人、付添人も合わせて免除となるそうです。美旗の「はたっこ号」はすでに免除となっているそうです。

子ども発達支援センターからは、5歳児健診を平成24年から実施しており、今年度はその子たちが小1なので年3回巡回して様子を聞き、検証しているという話をお聞きしました。移行シートを使って情報をていねいに送った子たちがスムーズに学校生活に入っていくことができていると聞き、まさに「途切れのない支援」の最初の部分なので、情報を引き継ぎ支援に活かすことの重要性を再確認する大事な検証だと思いました。

保護者から「日常生活の中で大きな物音をたてたり大声で叫んだりする子に対して、周囲の人たちにかかるご迷惑を考えると、子どもに甘く接することができない。何かよい対応の仕方はないか」と書面での質問がありました。臨席の保護者からも「集合住宅で隣近所が気になっている保護者はたくさんいる。虐待とされているのではと思ったり、しつけがなっていないと言われて傷ついたりしている保護者もいる。保護者の気持ちが限界にくるときもある。お母さんたちの集まりの中で、そのような話をたくさん聞く。」と、補足がありました。これに対して複数の関係機関から、「地域の民生委員さんにお話して、周りの人に理解してもらうのも一つ（の方法）かもしれない。お子さんがある程度大きいなら、福祉サービスを利用してお家で過ごす時間を短くし、ある程度音を立てても大丈夫な環境でのびのびと過ごせるようにするのも一つ（の方法）かもしれない。今の状態の子どもを受け止めるために、いろんな手段を考えていきたい。そのためにはまずは声を上げて、相談に来てほしい。」とのお話がありました。



【10～11月の予定】

- ・10月27日（火） 高等部説明会
- ・11月8日（土） つばさ祭り（12日（月）振替休業日）
- ・11月25日（火） 中学部公開体験授業（次回は、1月27日（火）の予定です。）
- ・11月26日（水） 小学部公開体験授業（次回は、1月下旬の予定です。）



